



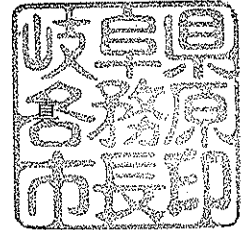
19各都計第13号-2

平成19年5月7日

国土交通省

道路局長 宮田 年耕 様

各務原市長 森



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号でご依頼のありました、道路整備の中期的な計画の作成にあたって、別紙の通り意見を提出しますのでよろしくお願いいたします。

中期的な計画作成にあたっての意見

●重点化を進める上で特に優先度の高い施策について

厳しい財政事情、社会情勢の変化、地域の社会生活基盤の維持改善・自治体間競争が激化する中で真に必要な道路整備において、

1. 地域内の基幹道路整備（経済波及効果が期待できる道路整備）
 2. 渋滞対策としてバイパス整備、局部交差点改良
 3. 広域ネットワーク道路の整備
 4. ゆとり、賑わい空間を確保した歩道のある道路整備
 5. 美しい景観に資する道路整備（無電柱化、街路樹、屋外広告物の制限）
- が優先度が高い施策と考えます。

●効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路整備にあたっては、構想から事業化、事業完了までにかかなりの期間を要しており、その間に社会情勢・経済情勢・土地利用状況が当初の構想段階から変化しているにもかかわらず、見直しが行なわれずに事業が継続されがちである。

事業の効率化を進める上では、

1. 構想・計画段階で優先順位を定め、優先順位の高いものから短期集中投資で事業化
 2. 適宜、事業評価・計画の見直し
- が重要であると考えます。

●その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関すること

各務原市は、南に木曾川が県境を流れ、北部・東部に山地、中央部に約400haの航空自衛隊岐阜基地が位置しております。道路として、大動脈である国道21号線が中央を東西方向に、また主要地方道江南関線が南北に走り、西部に東海北陸自動車道各務原インターチェンジ、東南部には主要地方道春日井各務原線があります。この中で、主要地方道江南関線、主要地方道春日井各務原線は県境部で慢性的な渋滞が発生しております。また、平成16年に川島町と合併しましたが、旧川島町へは木曾川をはさんでおり、他の行政区域を経由しなければアクセスすることができない状況であります。

新総合計画及び新市建設計画の「元気な大交流都市—公園都市・共生都市・快適産業都市」をテーマに社会基盤整備において、都市再生と公園都市を目指してまちづくりを展開し、おしゃれで美しい街、老後も安心、便利な街、地球環境共生を都市戦略としております。

都市の活力を活性化させるためには、基幹道路整備は必要不可欠と考えており、現在、主要地方道江南関線の県境部での慢性的な渋滞解消するためのバイパス整備として、都市計画道路各務原扶桑線（平成11年に岐阜南部横断ハイウェイの一部として新愛岐道路の整備区間指定、平成16年に都市計画決定）の整備、合併に伴い必要な道路として（仮）那加小網線の整備、都市内幹線道路の岐阜鵜沼線の整備を事業化しております。また、現在、国において事業化していただいております坂祝バイパスと平成12年3月に完成した犬山橋を結ぶ都市計画道路犬山東町線バイパスの整備が急がれるところであります。

国の事業としては坂祝バイパスの整備をしていただいておりますが、それに接続する岐阜南部横断ハイウェイにつきましても、まだ調査区間ありますので早期に整備区間に指定され事業に着手していただくと共に、現在、岐阜県、各務原市で事業化しております上記路線等へのご支援を要望いたします。